

なめりかわ未来創生事業交付金 特別協働事業募集テーマ

～特別協働事業とは～

市では、なめりかわ未来創生事業交付金の対象となる事業のうち、重要な行政課題・地域課題として位置付けるものについて、「特別協働事業」として、募集テーマを設定し、事業の実施に係る費用を、補助限度額の範囲内で全額助成します。

特別協働事業の実施を実施する場合は、実施内容について確認する必要がありますので、交付申請書の提出前にご相談ください。実施内容の相談も承りますので、お気軽にご連絡ください。

<お問合せ先>

滑川市総務部 企画政策課（市役所本館2階）

電 話：076-475-2119

E-mail：kikaku@city.namerikawa.lg.jp

令和 7 年度 特別協働事業募集テーマ①

募集テーマ	地域におけるSDGsの推進
交付限度額	20 万円
所管課	企画政策課
事業期間	令和 7 年 4 月 ～ 令和 10 年 3 月 （最大 3 カ年度継続）
募集期限	令和 8 年 1 月 30 日
想定する事業の概要	① 市内での SDGs 普及啓発事業及び実践的取り組みへの助成 （町内会や事業者主催での SDGs 勉強会や普及啓発イベントの開催等） ※ 県補助事業でも SDGs 普及啓発に関する補助金があるが、こちらは複数の市や民間等の団体が連携して行うことが前提とされており、単独の団体の活動では申請できないため、内容は重複しないものと考えている。 ② 市主催イベントで提案されたプロジェクト実現に係る費用への助成
事業の目的、背景、必要性	（事業の背景、解決したい課題） 市内における SDGs 推進の機運を醸成し、実践的な活動者を増やす。
求める効果	（事業によって求める効果） ・ 地域における SDGs に関する意識の浸透と実践的な活動者の増加。 ・ 市民提案プロジェクトの主体的実施。
協働の意義や相乗効果	（市民等が主体となって実施する意義や市・団体にとってのメリット） 市主催では普及啓発イベントを実施できる回数が限られており、参加者が限られてしまう。身近な範囲で開催してもらうことで、地域における SDGs の浸透や、より実践的な活動を促す効果が得られる。 また、市主催のイベントで提案されたプロジェクトについて費用助成をすることで、市民共創のまちづくりを実践する。
役割分担	<u>市の役割</u> ① 普及啓発イベント実施結果や団体の紹介 ② プロジェクト実施に関する助言と協力 <u>実施団体に求める役割</u> ① 地域や企業に合った形での普及啓発イベントの企画・開催 ② プロジェクト実施に関する実働等

令和 7 年度 特別協働事業募集テーマ②

募集テーマ	持続可能な多文化共生の推進
交付限度額	20 万円
所管課	企画政策課
事業期間	令和 7 年 4 月 ～ 令和 10 年 3 月 （最大 3 カ年度継続）
募集期限	令和 8 年 1 月 30 日
想定する事業の概要	地域住民と在留外国人が相互の文化に触れる機会を積極的に提供し、地域において互いに理解し支え合う多文化共生のまちづくりを推進する。 ・ 在留外国人への日常生活に関する情報の提供・支援 ・ 地域住民を巻き込んで、外国の文化や食をテーマにした国際交流イベントの開催 ・ 在留外国人を支援する市民ボランティアの育成 など
事業の目的、背景、必要性	（事業の背景、解決したい課題） 市内の在留外国人は年々増加しており、ここ 10 年で約 2 倍に増えている。在留外国人の中には、技能実習生として来日するケースが多く、数年ごとに入れ替わるため、在留外国人への支援は継続して行う必要がある。しかし、在留外国人への支援をする人や団体が少なく、地域住民の多文化共生に関する意識も高くはないのが現状である。在留外国人が安心・安全に日常生活を送れるよう支援するとともに、地域住民も巻き込んだ異文化交流やボランティア育成を行うことにより、多文化共生の意識を全体的に高めることができる。
求める効果	（事業によって求める効果） ・ 地域における多文化共生の推進 ・ 在留外国人の日常生活における不安の解消 ・ 継続的に支援できるように市民ボランティアの育成・体制づくり
協働の意義や相乗効果	（市民等が主体となって実施する意義や市・団体にとってのメリット） ・ 在留外国人の支援をしている団体や地域住民が主体となった取り組みを進めることで、地域における多文化共生の推進が図られる。 ・ 市民ボランティアや支援の体制づくりを構築することにより、継続して在留外国人の日常生活支援が可能となる。
役割分担	市の役割 ・ 費用負担 ・ 実施内容の相談・支援 ・ 事業の周知・後援 実施団体に求める役割 ・ 事業の企画・運営 ・ 外国人支援の土台醸成（市民ボランティアの育成・体制づくり）